

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月13日

【四半期会計期間】 第44期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 元旦ビューティ工業株式会社

【英訳名】 GANTAN BEAUTY INDUSTRY CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 船木亮亮

【本店の所在の場所】 神奈川県藤沢市湘南台一丁目1番地21

【電話番号】 0466(45)8771(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役管理統括 室岡正己

【最寄りの連絡場所】 神奈川県藤沢市湘南台一丁目1番地21

【電話番号】 0466(45)8771(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役管理統括 室岡正己

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第43期 第1四半期累計期間	第44期 第1四半期累計期間	第43期
	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	1,334,265	1,869,563	10,157,767
経常利益又は経常損失 () (千円)	181,941	119,415	538,719
四半期純損失 () 又は当期純利益 (千円)	172,054	81,885	115,037
持分法を適用した場合の 投資利益 (千円)			
資本金 (千円)	1,266,921	1,266,921	1,266,921
発行済株式総数 (千株)	7,716	7,716	7,716
純資産額 (千円)	1,750,119	1,940,164	2,037,360
総資産額 (千円)	5,960,957	6,825,012	6,991,377
1株当たり四半期純損失金額 ()又は1株当たり当期純利 益金額 (円)	22.41	10.66	14.98
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
1株当たり配当額 (円)			2.00
自己資本比率 (%)	29.4	28.4	29.1

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には消費税等は含まれておりません。
- 3 持分法を適用した場合の投資利益につきましては、関連会社がないため記載しておりません。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、第43期は潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第43期第1四半期累計期間及び第44期第1四半期累計期間では、1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期累計期間における日本経済は、株価上昇の「資産効果」などから個人消費が底堅く推移していること、復興需要や緊急経済対策で公共投資が増加していること、円安で輸出量が下げ止まり、輸出関連企業の収益が回復しつつあることなどにより、緩やかに回復を続けています。

また、建設業界においては、被災地の公共投資が増加しているものの、民間設備投資は低調な動きが続いています。ただし住宅投資については、東北地方を中心に高い伸びを示しています。

このような状況のなか、当社は地球環境保全に貢献できる太陽光発電屋根や、従来の金属屋根では対応できなかったビル・マンションへの防水屋根のほか、高機能・高品質屋根の普及に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,869百万円（前年同期比40.1%増）となり、その内訳は製品売上高が1,179百万円（前年同期比35.3%増）、請負工事高が689百万円（前年同期比49.1%増）となりました。

損益面におきましては、営業損失は120百万円（前年同期は170百万円の損失）、経常損失は119百万円（前年同期は181百万円の損失）となり、法人税等調整額を44百万円を計上したことから、四半期純損失は81百万円（前年同期は172百万円の損失）となりました。

なお、当社の売上高は建設業界固有のマーケット特性により、事業年度の後半に著しく増加する傾向にあり、よって、当第1四半期の営業利益・経常利益及び四半期純利益はマイナスになっております。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ166百万円減少し、6,825百万円となりました。その主な要因としては、当第1四半期の売上債権の回収増に伴い、受取手形及び売掛金が161百万円減少したことなどによるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べ69百万円減少し、4,884百万円となりました。その主な要因は、仕入債務の決済増に伴い、支払手形及び買掛金が513百万円減少したこと、一方で短期借入金が増加したことなどによるものです。

純資産合計は、当第1四半期累計期間の四半期純損失の計上及び配当金の支払いにより、前事業年度末に比べ97百万円減少して1,940百万円となり、自己資本比率は28.4%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期累計期間の研究開発費の総額は27,589千円であります。

なお、当第1四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	29,160,000
計	29,160,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,716,063	7,716,063	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は 1,000株で あります。
計	7,716,063	7,716,063		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		7,716,063		1,266,921		

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 40,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,637,000	7,637	
単元未満株式	普通株式 39,063		一単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	7,716,063		
総株主の議決権		7,637	

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 元旦ビューティ工業 株式会社	神奈川県藤沢市湘南台 1 - 1 - 21	40,000		40,000	0.51
計		40,000		40,000	0.51

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は、子会社を有していないため、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	675,141	753,975
受取手形及び売掛金	2 1,335,043	2 1,173,082
完成工事未収入金	725,619	356,106
製品	408,602	474,217
仕掛品	7,904	4,903
未成工事支出金	254,070	227,873
原材料	557,537	625,106
その他	284,394	472,903
貸倒引当金	445	337
流動資産合計	4,247,868	4,087,831
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	542,973	533,197
機械及び装置（純額）	167,968	169,145
土地	1,578,964	1,578,964
その他（純額）	98,874	97,700
有形固定資産合計	2,388,780	2,379,008
無形固定資産		
投資その他の資産	39,160	37,745
その他	459,762	464,353
貸倒引当金	144,194	143,926
投資その他の資産合計	315,567	320,426
固定資産合計	2,743,508	2,737,180
資産合計	6,991,377	6,825,012
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 2,588,987	2 2,075,690
工事未払金	308,799	145,654
短期借入金	429,060	889,500
1年内償還予定の社債	35,000	35,000
未払法人税等	194,780	8,874
製品保証引当金	30,474	32,080
その他	2 353,456	447,406
流動負債合計	3,940,557	3,634,207
固定負債		
社債	110,000	110,000
長期借入金	559,430	791,550
退職給付引当金	330,882	336,322
その他	13,146	12,768
固定負債合計	1,013,458	1,250,641
負債合計	4,954,016	4,884,848

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,266,921	1,266,921
利益剰余金	786,369	689,132
自己株式	15,807	15,918
株主資本合計	2,037,482	1,940,135
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	121	28
評価・換算差額等合計	121	28
純資産合計	2,037,360	1,940,164
負債純資産合計	6,991,377	6,825,012

(2)【四半期損益計算書】
 【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,334,265	1,869,563
売上原価	916,281	1,338,097
売上総利益	417,983	531,465
販売費及び一般管理費	588,415	651,703
営業損失()	170,431	120,238
営業外収益		
受取配当金	4,521	4,521
受取賃貸料	-	5,075
その他	1,803	5,146
営業外収益合計	6,324	14,743
営業外費用		
支払利息	8,166	5,475
手形売却損	4,273	3,096
その他	5,395	5,348
営業外費用合計	17,834	13,920
経常損失()	181,941	119,415
特別損失		
投資有価証券評価損	55,302	-
特別損失合計	55,302	-
税引前四半期純損失()	237,243	119,415
法人税、住民税及び事業税	7,044	7,002
法人税等調整額	72,234	44,531
法人税等合計	65,189	37,529
四半期純損失()	172,054	81,885

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

1. 受取手形割引高

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形割引高	2,133,878千円	1,312,642千円

2. 四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形が、四半期会計期間末残高に含まれております。

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	9,247千円	1,989千円
支払手形	170,971 "	204,392 "
設備関係支払手形	5,348 "	"
割引手形	125,942 "	70,968 "

(四半期損益計算書関係)

売上高の季節的変動

前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

当社の売上高は、最終ユーザーの設備投資等の状況により、事業年度の後半に売上高が著しく増加する傾向にあります。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	36,248千円	31,098千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	15,352	2.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第1四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	15,350	2.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

当社は、金属屋根事業、ならびにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額	22円41銭	10円66銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	172,054	81,885
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	172,054	81,885
普通株式の期中平均株式数(株)	7,676	7,675

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月9日

元旦ビューティ工業株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 水野 雅史 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 澤田 修一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている元旦ビューティ工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第44期事業年度の第1四半期会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、元旦ビューティ工業株式会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。